

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	障害福祉課長	寺山 明
健福-39	障害者社会参加促進事業	☒ 自治事務	主管課	障害福祉課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	障害者等
意図	在宅の障害者等の社会参加及び外出を支援するため。
効果	障害者等の社会参加の促進を図る。

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

- ・聴覚障害者等からの依頼により、手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等の情報保障を図った。
- ・市のパンフレットの点字版を作成するなど、視覚障害者、聴覚障害者等の情報取得手段の確保を図った。
- ・手話通訳支援員を週5日窓口に配置した。
- ・手話講習会入門、基礎、応用講座等)を開催した。
- ・障害者が自ら運転する自動車を改造する場合に自動車改造費の助成を行った。
- ・在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券等を交付し利用料等の助成を行った。
- ・市民団体との協働事業として、障害者等が社会参加の機会を得るためのイベントを開催した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	手話通訳者等派遣事業	手話通訳者等派遣等報償費、業務委託、費用弁償等	手話通訳者・要約筆記者の派遣件数(件)	193 / 250	250	250	77.20%
				1,569 / 2,523	2,189	2,189	
02	手話講習会等開催事業	手話講習会等開催業務委託	手話講習会等修了者数(人)	39 / 53	50	50	73.58%
				1,807 / 1,807	1,807	1,807	
03	障害児者福祉イベント開催事業	障害児者福祉イベント開催負担金	イベント参加者数(人)	- / -	-	-	
				0 / 0	0	0	
04	自動車改造費等助成事業	身体障害者自動車改造費助成費	身体障害者自動車改造費助成件数(件)	4 / 5	5	5	80.00%
				400 / 500	500	500	
05	障害者タクシー料、自動車燃料費等助成事業	障害者タクシー券等事務手数料、印刷製本費	福祉タクシー券利用率・自動車燃料券利用率(利用者数/交付枚数)(%)	53%/84% / 100%/100%	100%/100%	100%/100%	56%/86%
				27,853 / 33,615	40,061	40,061	
06	情報保障(点字)事業	点字版等作成委託 視覚障害者用PC・ソフトウェア式	-	- / -	-	-	
				2,434 / 3,557	557	557	
07	一般事務経費	消耗品費、緊急通報装置維持修繕料	-	- / -	-	-	
				18 / 138	135	135	
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源内訳	国県支出金	1,522 / 2,340	1,853		
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	32,559 / 39,800	43,396		
		事業費の合計(千円)		34,081 / 42,140	45,249		
		人件費(千円)			13,113	11,964	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.0	2.2	2.2	1.3	1.0	0.9
会計年度任用職員	2.0	2.0	2.5	4.0	3.2	3.1

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	手話通訳者等派遣事業	当事業は利用者からの申請に基づき、手話通訳者等の派遣調整を行う事務のため、利用者側の状況に左右されるものの、当初、市民からの派遣要望を想定した目標値と同程度の派遣件数となり、聴覚障害者の情報保障の一助となったものと考ええる。	聴覚障害者の生活に必要な様々な場面でコミュニケーション支援をすることは、重要な事業である。	聴覚障害者が日常生活を営む上で、情報の取得及び利用並びに他者との意思疎通にとって必要不可欠なものとして、条例に基づく事業であるため、事業を継続する。
02	手話講習会等開催事業	講習会修了人数は39名と目標比73%と未達成であった。手話通訳者は、神奈川県手話通訳者試験を合格した者が1名、要約筆記者は1名と新たに市の登録通訳となっており、継続して開催した効果が表れてきている。	聴覚障害者が社会に参加するため、手話の普及を図り、通訳者を増やすことは、重要な事業である。	神奈川県の認定試験合格の難易度が高く、手話通訳者及び要約筆記者を増やすことは難しい。また、講習会修了後、継続して学ぶ機会の提供が不足しており、希望者に対する細やかなフォローが行える体制づくりが求められる。
03	障害児者福祉イベント開催事業	市民協働事業として、新たに「障害児者イベント」の開催に伴い、同イベントへの参加者数を指標として設定した。目標を上回る参加者を得られ、障害者への理解・様々な事業の啓発に寄与したものと考ええる。令和6年度については、市民団体の主催事業となるが、多くの方々に参加していただくことで、支援の拡大につなげていく。	障害児者との交流、市民への啓発の機会となる必要性が認められる事業である。	令和6年度についても、ふれあいフェスティバルの開催は見送った。令和5年度から市民協働事業として、新たに開催した「障害児者イベント」については、負担金の支出は行わないが、市民団体の自主事業として実施する予定であることから、イベント開催に向けた必要な支援が求められる。
04	自動車改造費等助成事業	障害者が自ら運転する自動車の改造費等への助成は、利用者側からの申請によるものであるため、目標設定にはなじまない一面もあるが、令和5年度は目標4件に対して4件の申請を受けて助成を行った。当事業が、障害者の社会参加の一助となっているものと考ええる。	障害があっても自分で車を運転したい障害者の自立及び社会参加を支援する重要な事業である。	事業を継続する。
05	障害者タクシー料、自動車燃料費等助成事業	利用率は、年々減少傾向となっている。手続きの簡素化やタクシー事業者においては、利用できる契約事業者も5事業者増加している。物価高騰に伴い、バスや電車など安価な交通手段の利用が増えたものと想定される。	障害者の社会参加及び外出機会を増やすため、必要な事業である。	利用者の利便性向上のために契約事業者数の増加が課題となっている。自動車燃料等助成券を利用できる給油所は、4ヶ所から2ヶ所に減少した。市内の給油場に契約の打診を行い、1ヶ所新規で契約を締結し、合計で3ヶ所となっている。引き続き協力していただける事業者への対応を行っていく。
06	情報保障(点字)事業	条例に基づき、障害者のニーズに即して、その都度、点字版等を作成するもので、指標の設定には適さない。	視覚障害者の社会参加のニーズは引き続きあり、事業を実施していく必要がある。	視覚障害者等の情報取得や意思疎通に関して感じる不安や不便を軽減するため、引き続き、情報保障への対応を行っていく。
07	一般事務経費	消耗品費などの共通的な経費で指標の設定には適さない。	-	-

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー 手話講習会実行委員会 要約筆記講習会実行委員会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
この事業は、聴覚障害者へのコミュニケーション支援や、タクシー券支給などの各種制度により、障害児者の社会参加を支援しているものである。今後も現行制度の維持に努め、障害者の社会参加を支援していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	手話通訳者・要約筆記者の派遣件数						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
障害者等の社会参加及び外出支援の促進を図るため。	目標値		250	250	250	250	250	
	実績値	171	174	251	246	193		
	達成率		69.6%	100.4%	98.4%	77.2%		

指標(単位)	障害者福祉タクシー券利用率(利用枚数/交付枚数)						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
障害者等の社会参加及び外出支援の促進を図るため。	目標値		100	100	100	100	100.0	
	実績値	63.4	58.4	56.0	53.0	56.4		
	達成率		58.4%	56.0%	53.0%	56.4%		

指標(単位)	障害児者福祉イベントの参加者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
障害児者との交流、市民への啓発の機会とするため。	目標値				2,000			
	実績値				2,500			
	達成率				125.0%			

指標(単位)	障害者福祉自動車燃料券利用率(利用枚数/交付枚数)						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
障害者等の社会参加及び外出支援の促進を図るため。	目標値		100	100	100	100	100.0	
	実績値	96.5	87.7	86.0	84.0	87.6		
	達成率		87.7%	86.0%	84.0%	87.6%		

